

# 「FinTech」とは

FinTech = Finance(金融) + Technology(技術)

「ITを活用した革新的な金融サービス事業を指す。  
特に、近年は、海外を中心に、ITベンチャー企業が、  
IT技術を生かして、伝統的な銀行等が提供していない  
金融サービスを提供する動きが活発化している。」

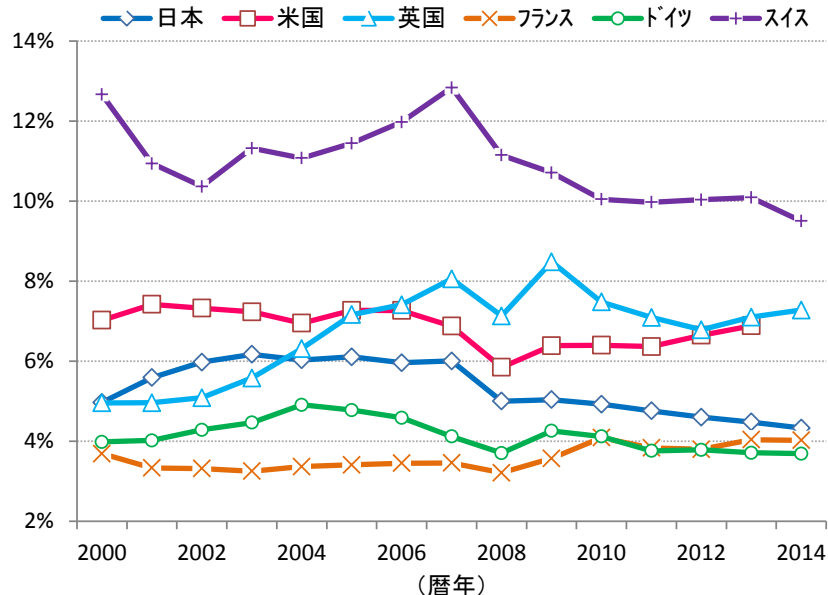
(出所)金融庁「金融審議会決済業務等の高度化に関するワーキング・グループ報告」(2015年12月22日)より

- 欧米を中心にFinTechベンチャーへの投資が拡大
- 非上場のユニコーン企業(時価総額10億ドル以上)が複数出現  
⇒ 金融×IT＝金融業の成長？

# 最近の金融業の低迷

近年、主要国の金融業はかつての存在感が見られない状況

図. (主要国) GDPに占める金融保険業の割合



(注)米国の2014年データは未公表。

(出所)内閣府、OECDより大和総研作成

# FinTechが注目される背景

## 消費者ニーズが変わってきた可能性

(ただし、金融業だけでなく他産業も同様)

### <欧米>

#### ◆金融危機

- ・中小企業への貸し渋り
- ・「借りたくても借りられない」

#### ◆ゼロ金利政策

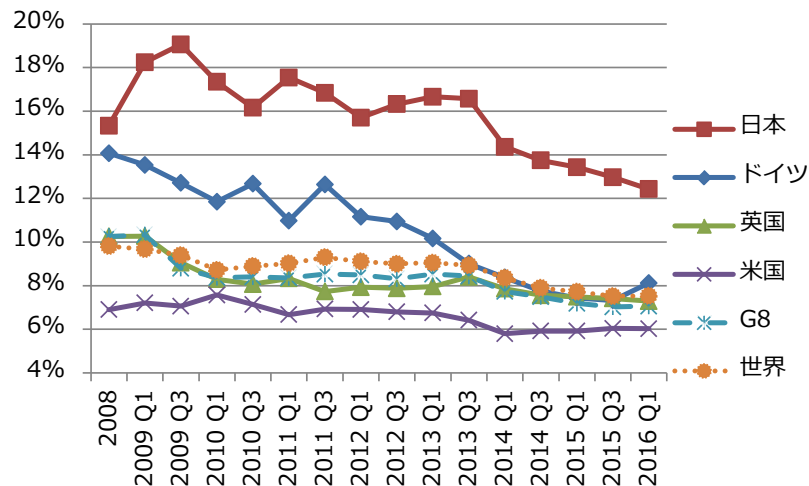
- ・預金利息の低下
- ・「貸したくても殖やせない」

#### ◆ITの進展

- ・安価な金融インフラの出現

### <日本>

図. 日米英独、G8、世界の海外送金手数料率



(出所)世界銀行より大和総研作成

# FinTechサービスの概要①決済、融資

サービス種類	主な活用技術	主な特徴、従来にない新規性など
モバイル決済	<ul style="list-style-type: none"><li>・モバイル</li><li>・ dongle型リーダー</li><li>・スマホアプリ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・専用の通信回線をモバイルに代替</li><li>・読取装置が簡素、不要なケースも</li><li>・手数料体系がシンプル</li></ul>
モバイル送金	<ul style="list-style-type: none"><li>・モバイル</li><li>・SNS</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・携帯電話番号やSNSアカウントで送金</li><li>・口座情報等の伝達が不要</li></ul>
EC／会計連動 レンディング	<ul style="list-style-type: none"><li>・会計ソフト</li><li>・ビッグデータ</li><li>・オープンAPI</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・売上実績データで与信審査、短期化</li><li>・銀行が企業業績や財務情報をリアルタイムに把握</li></ul>
ソーシャル レンディング	<ul style="list-style-type: none"><li>・インターネット</li><li>・クラウド</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・中間業者を介さない直接融資(P2P)</li><li>・資金の出し手は望むリスクで融資が可能</li></ul>

(出所)各種報道や発表資料等より大和総研作成

# FinTechサービスの概要②資産管理、投資助言、保険

サービス種類	主な活用技術	主な特徴、従来にはない新規性
PFM (個人金融管理)	・モバイル ・オープンAPI	・複数の金融機関口座やクレジットカードの履歴を一元管理
ロボ・アドバイザー	・AI／ロボット ・ビッグデータ	・簡単な質問に回答することで投資助言 ・全自動化で窓口／コールセンターが不要
クラウド ・ファンディング	・インターネット ・クラウド	・インターネットで不特定多数から資金調達、既存の市場を経由しない ・リターンは商品そのものの場合も
テレマティクス保険	・IoT	・走行情報をデータ蓄積して保険料を連動させた自動車保険 ・データが広範囲・詳細になるにつれ、走行距離連動型から運転行動連動型に

(出所)各種報道や発表資料等より大和総研作成

# FinTechサービスの概要③ブロックチェーン、仮想通貨

サービス種類	主な活用技術	主な特徴、従来にない新規性
仮想通貨	・ブロックチェーン	・いずれの法定通貨でない電子的な通貨 ・決済インフラによっては送金等が低コスト

## ◆ブロックチェーンとは

- 複数のコンピュータで台帳を共有し、帳票の改ざんを防ぐ仕組み
- ビットコインの基幹技術

## ◆確実な取引記録が必要な他の用途への適用が可能

### ⇒ スマートコントラクト

- 民事の契約等をデジタル化したもの
- ブロックチェーンと組み合わせて、偽造困難な契約の締結が可能
- 期日がきたら自動で執行など、「スマート」な契約が実現

(出所)各種報道や発表資料等より大和総研作成

# FinTechに関する日本の政策等(一例)

## <法規制等>

### ◆銀行法等の一部を改正する法律案の概要(2016年3月4日)

- 5%ルールの緩和
  - 収入依存規制の緩和
  - プリペイドカード関連の措置
  - 仮想通貨への対応
    - > 仮想通貨の定義
    - > 交換業者登録制の導入
- ⇒ 伝統・新興の連携促進
- 健全な発展
  - 消費者保護

## <政策等>

### ◆キャッシュレス化の推進(日本再興戦略改訂2014)

#### ◆経済産業省:

- FinTech研究会

#### ◆金融庁:

- 金融技術の活用可能性検討
- オープンAPIのあり方検討
- 金融・ITネットワークシステム構築、国際標準電文形式への全面移行

# FinTechに対する日本の議論

- ・ 現在、わが国で盛り上がっているFinTech論議をみると、金融機関が既存の金融ITとそれを利用した業務を維持したままで、「**新しいB2Cサービス**」を外付けすれば、**金融が変革できるかのような印象**を受ける。
- ・ しかし、わが国の金融ITが抱える問題は、もっと根深いのではないか。新たなサービスを外付けするだけでは、**勘定系システムを中心とする金融ITの高コスト体質や硬直性が消える訳ではない**。それでは、**長い目で見て継続的に顧客サービスを改善し続けることは難しい**。
- ・ FinTechは金融ITの問題を解決する万能薬ではない。だが、金融業界がITを活用して新たなイノベーションを追及するうえでは、FinTechの**ビジネスモデルや開発手法が参考になる**。

(出所)日本銀行 ITを活用した金融の高度化の推進に向けたワークショップ第2期第1回  
「金融ITに求められる変革とは」